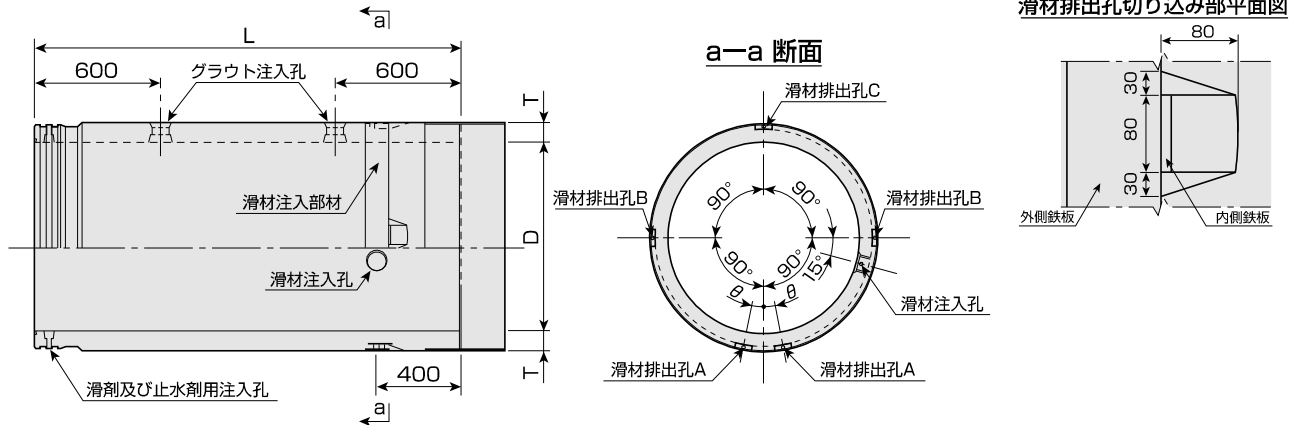
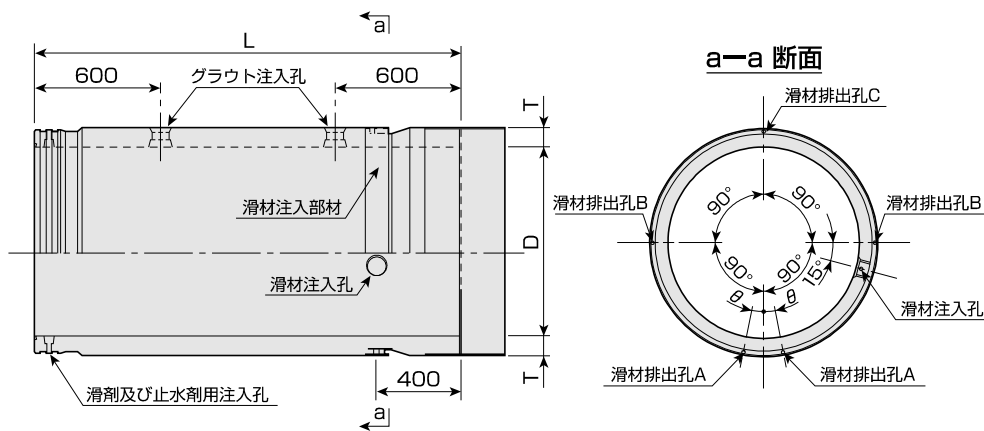


# 形状・寸法

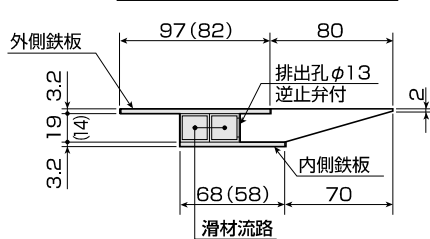
## 滑材注入管タイプA



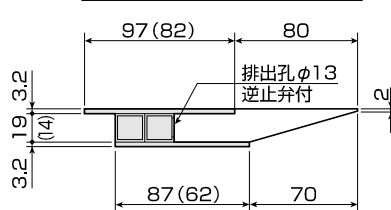
## 滑材注入管タイプB



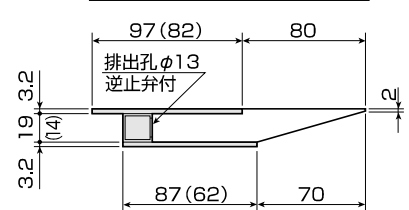
滑材排出孔A部断面図



滑材排出孔B部断面図



滑材排出孔C部断面図



単位：mm

( )内は呼び径600及び700の場合を示します。

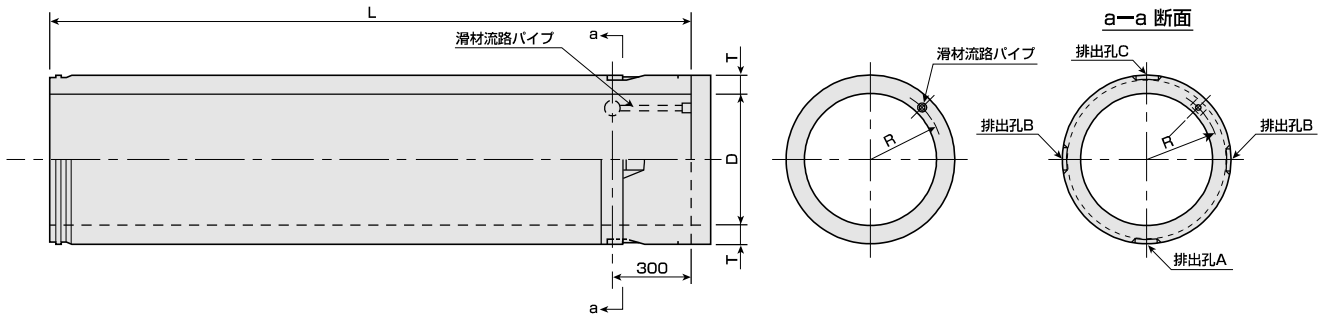
呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	$\theta$ (°)
600	600	80	2 430	10
700	700	90		
800	800	80		
900	900	90		
1 000	1 000	100		
1 100	1 100	105		7.5
1 200	1 200	115		
1 350	1 350	125		
1 500	1 500	140		
1 650	1 650	150		
1 800	1 800	160	5	
2 000	2 000	175		
2 200	2 200	190		
2 400	2 400	205		
2 600	2 600	220		
2 800	2 800	235		
3 000	3 000	250		

■注意：

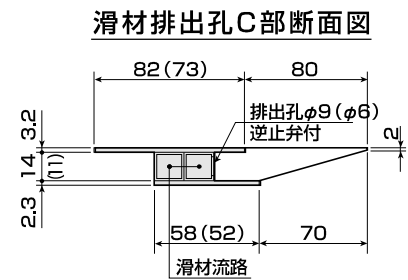
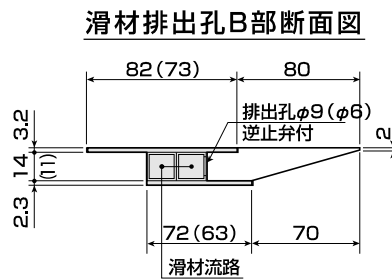
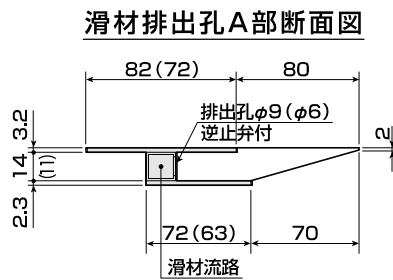
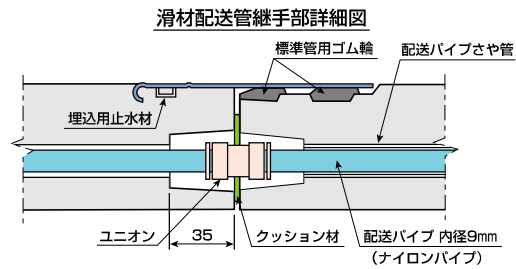
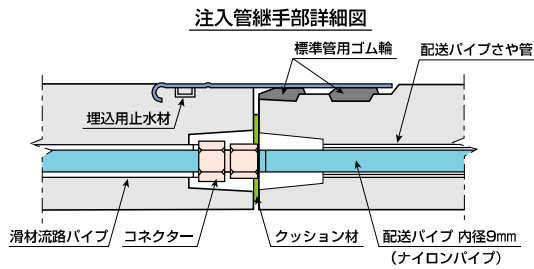
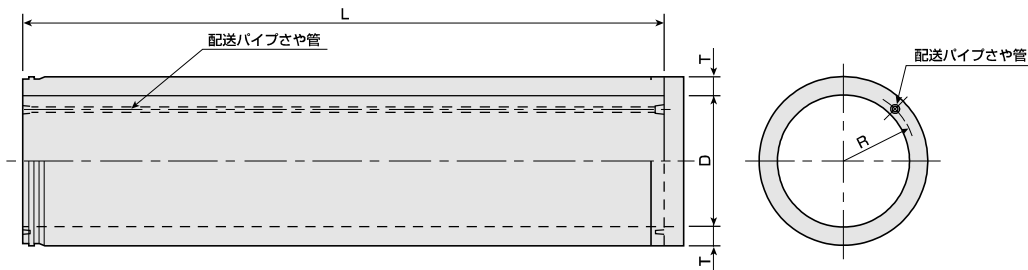
- ここに規定していない寸法については、各規格の標準管に準じます。
- 有効長(L)は1200mmとする事ができます。
- 滑材注入部材の位置は有効長Lにかかわらず、原則として端部から400mmの位置です。
- 滑材排出孔の数及び位置は、必要に応じて変更することができます。

# 形状・寸法

## 滑材注入管



## 滑材配送管



( )内は呼び径400及び450の場合を示します。

単位：mm

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	R
400	400	63	2430	225
450	450	67	2430	250
500	500	70	2430	277
600	600	80	2430	329

■注意：

- ここに規定していない寸法については、各規格の標準管に準じます。
- 有効長 (L) は1200mmとする事ができます。
- 滑材注入部材の位置は有効長Lにかかわらず、原則として端部から300mmの位置です。
- 滑材排出孔の数及び位置は、必要に応じて変更することができます。
- 小口径滑材注入管は1スパンあたり最大4本まで配置可能です。